

伝統建築の美観をチタン瓦で実現

これまで不可能とされていたチタン瓦の開発に成功。
荘厳な光を放つ本瓦葺きが東京都浅草寺宝蔵門を飾る。

ものづくり技術と感性価値の融合

日本古来の神社仏閣や城郭等に広く使われている「本瓦葺き」は、瓦の重量が重く、老朽化が進んだ歴史的建築物にとって非常に負荷が高い。

ルーフシステム株式会社は、次世代の屋根素材としてチタンに着目し、これまで不可能とされていた本瓦の美観を有するチタン瓦の開発に成功。ものづくりと感性価値を融合させることにより、古の建築物が有する「重厚かつ複雑な造形美」を再現した。東京都浅草寺宝蔵門の改修にこのチタン瓦が採用されている。

機能と美観を追求したチタン瓦

チタン瓦は土瓦の約 1/20、銅板の約 1/2 という軽量化、耐震性の向上を可能にするとともに、施工後はメンテナンスをほぼ必要としないという優れた特性を有する。また、金属イオンの溶出がない上に 100% リサイクルが可能であり、環境負荷が低い。同社は、銅屋根加工技術、プレス金型加工技術と高加工性のチタン材開発技術とを融合し、屋根材として一番重要な機能である水密性能を持つ本瓦の形状をチタンで実現。第2回ものづくり日本大賞経済産業大臣賞を受賞している。



東京都浅草寺宝蔵門



多様な干渉色を有するチタン瓦



ルーフシステム株式会社

福島県 喜多方市関柴町西勝字西原 315
1989 年（平成元年）設立
TEL 0241-24-5111
<http://www.roof-systems.co.jp>



代表取締役社長 渡部 渉